

事業所名

スマートキッズソリス東大島(放課後等デイサービス)

## 支援プログラム

作成日

2025年

1月

14日

法人(事業所)理念		教育の力により、一人ひとりの可能性を最大限支援することによって、共生社会の実現に貢献します			
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもが主体的に課題に取り組めるよう、子ども自身の力を信じ、思いに寄り添った関わりをもつ。</li> <li>社会生活に必要な力を育むために、一人ひとりに合わせた課題をスモールステップで設定し、成功体験に繋げる。</li> <li>地域や関連機関と密接に連携し、子どもとその家族に最適な支援を検討し、提供を行う。</li> </ul>			
営業時間		10時30分から	19時30分まで	送迎実施の有無	あり <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">なし</span>
支援内容					
支援方法		個別課題		集団・小集団課題	
本人支援	健康・生活	季節や気温に合わせて健康を保つための服装の調整の課題 食具、筆記具等生活で使用する物の練習 災害時の対応を身につける課題		健康的な生活を送るための基本的な生活習慣・良いルーティンを知る活動 自立した生活を送るための買い物学習 危険個所の理解や災害時等に関する避難訓練の実施	
	運動・感覚	視空間認知の発達や目と手の協調性のためのビジョントレーニング課題 身体全体の機能向上のための粗大運動(例:ハードル、サーキット運動等)の課題 指先の機能の向上のための微細運動(例:洗濯ばさみ、プットイン等)の課題		模倣や体幹、粗大運動に関わる活動(体操、ダンス、ボール運動等) 指先の操作や巧緻性のための微細運動(製作等) 体幹や姿勢保持・ボディイメージの形成のための活動(バランスボール、平均台等)	
	認知・行動	数字の理解や計算の習得に関わる課題 時計や数量についての理解に関わる課題 特性における認知の偏りを緩和し、興味・関心の幅を広げる課題		数字の理解に関わる活動(全部でいくつ?、数字当てゲーム、ビンゴゲーム等) 興味・関心の幅を広げるための活動(これってなんだ?、好きな物どれだ?等) 記憶保持に関わる活動(覚えて真似っこ、神経衰弱、山手線ゲーム等)	
	言語・コミュニケーション	文字や文章の読み書きの理解のための課題 コミュニケーションスキルの獲得・向上のための(指差し、身振り、サイン等)の課題 人との相互作用によるコミュニケーションとしての1対1での関わり課題		文字やイラストを用いたコミュニケーションの活動(かるた、絵しりとり等) 口頭での指示理解や説明内容の理解のための活動(スリーヒントクイズ、メモをとってみよう) 人との相互理解のコミュニケーション活動(顔き、拍手、OKサインの活用等)	
	人間関係・社会性	生活場面で必要な場面理解や他者の感情理解の課題(SST) 適切な距離感や丁寧な言葉への理解に関する課題 集団への参加や集団での指示理解のための課題		社会性の向上のための活動(SST、ルールを守って協力ゲーム等) 集団の中での順番、工程を守るための活動(よく聞いてやってみよう、順番にできるかな) 複数の利用者同士の適切な関わり理解のための活動(貸し借り、勝ち負けのあるゲーム等)	
家族支援		保護者に対して、発達検査や本事業所内での様子、家庭での情報を踏まえてアセスメントした内容を共有する。また、現状の発達段階や特性についての対応も明確にし、本事業所で対応していることを家庭でも取り組めるように共有していく。 保護者との面談や支援内容の共有の時間を通して、発達段階における基本対応や特性に関する基本情報の提供を行い、家庭で可能な対応に関して助言を行う。		移行支援	当事業所で作成の個別支援計画を他機関と共有し、課題として取り組んでいることを日常で実践できるように支援することで、利用者に対する支援の統一を図る。 本事業所以外でも同様に取り組めるように支援の方法を共有する。
地域支援・地域連携		学校での課題を確認したうえで、それに合わせた本事業所での対応を他機関に連携することで、実践的な支援に繋げる。 各機関での対応や様子を確認し、日常生活でその対応を活かせるように保護者を含めて連携していく。		職員の質の向上	経験年数別の階層別療育研修・組織人研修、虐待防止研修、感染症対策防止研修等の実施。 心理士等専門家を交えたミーティング、事例検討の定期実施。
主な行事等		避難訓練(火事、地震、水害等)、保護者会、その他			